

平成27年7月2日 都市農地保全推進自治体協議会

An illustration featuring two smiling farmers in the center. The farmer on the left wears a brown hat and a blue apron over a white shirt, holding a wooden tool. The farmer on the right wears a yellow hat and a blue apron over a white shirt, holding a red tomato. They are surrounded by a variety of colorful vegetables including green leafy greens, purple eggplants, orange carrots, and white radishes. In the background, several stylized city buildings of different heights and colors (white, blue, pink) are visible against a light blue sky. A large red semi-circle is positioned in the foreground, containing the event title.

第9回

都市農地保全自治体フォーラム

～会員自治体取組事例紹介～



昭 島 市

市長：北川 穰一

【ふれあい農業の推進】

市民農園「マイファームあきしま」や、農業体験教室「親子米づくり教室」などの施策を行うことで、市民が農業とふれあう場を積極的に提供しています。





あきる野市

市長：臼井 孝

【地産地消型農業の推進】

地元野菜などの収穫体験と郷土料理の試食などを行う『あきる農を知り隊(農ウォーク)』の実施や、小・中学校給食へ地元の旬野菜を提供し、消費者と農業者の信頼関係を深めています。



消費地に近い農地



小学生の農業体験



足立区

区長：近藤 やよい

【農業ボランティアの育成】

高齢化や担い手不足の農家経営支援のため、農作業のお手伝いをしたい区民を募集し、農家などでの実習、講義を通じ農業ボランティアとして養成し、登録者を希望する農家へ派遣しています。

(H26年度派遣実績：延2,054人)





板橋区

区長：坂本 健

【板橋ブランド野菜「志村みの早生大根」】

板橋区では、一度姿を消した江戸東京野菜「志村みの早生大根」を復活させ、板橋ブランド野菜として、区内イベントでの販売をしています。

今後、「志村みの早生大根」を板橋の農業振興のシンボルとして、地産地消や食育をさらに推進していきます。





稲 城 市

市長：高橋 勝浩

【市民参加型農業に対する支援】

農業に対する理解や農家との交流を深め、農にふれあう「市民交流事業」及び「農業体験学習」により農家と市民が共に喜び、交流できるふれあいのある農業の発展を推進します。

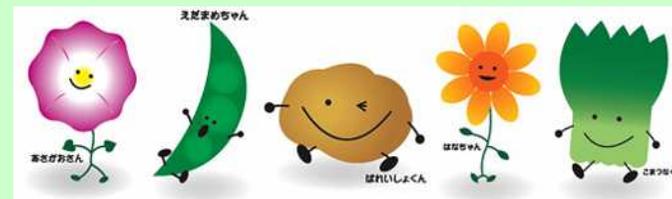




江戸川区

区長：多田 正見

【江戸川は花と野菜のゆめ産地】



68万区民が生活する江戸川区。大都市の中で「都内第1位の生産量を誇る小松菜」と「東京の花どころ」と言われる花卉園芸が盛んに行われ、産業の一翼を担っています。





青 梅 市

市長：竹内 俊夫

【親子農業体験会の実施】

青梅市農業委員会では「関東の富士見百景」にも選ばれた今寺天皇塚水田で西東京農業協同組合と共催で、市内の親子を対象とした「田植え」「稲刈り」の体験会を実施しています。





大田区

区長：松原 忠義

【大田区野菜と花の品評会】

区内農業者による品評会を実施しています。あわせて、区民農園でとれた野菜の展示、伝統工芸品であった麦わら細工の製作体験、野菜についての講座、区内の野菜を使った料理の紹介と試食なども行い、農業への理解を深めています。



葛飾区

区長：青木 克徳

【農業応援サポーター養成】

大学と営農者との連携で農業応援サポーター養成講座を開催し、昨年度からは講座修了生の区内農家への紹介も行っています。

今年度もサポーターをさらに拡充する予定です。

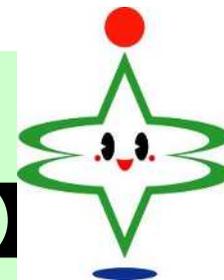




清瀬市

市長：渋谷 金太郎

【手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬】



これは清瀬市のまちづくりのスローガンで、市民みんなが一致団結して、自然豊かな、元気で明るいまちを築いていこうというものであります。

農業まつり・中学生の農業体験・市民農園や農のある風景として、「清瀬ひまわりフェスティバル」を開催し、市民とのふれあい農業を進めています。





国立市

市長：佐藤 一夫

【都市と農業が共生するまちづくりを進めています】

府中用水・ハケが取り囲む田園の営農環境保全に努めています。また、「城山さとのいえ」を活用した農業体験の実施や、くにたちマルシェの開催などのイベントでの農・商・工連携を推進しています。これにより、地産地消を促進し、行政と農業者および市民が手を携えて、国立市の農業を保全・発信しています。



農業体験学習施設「城山さとのいえ」



くにたちマルシェ



野菜収穫体験



府中用水の草刈りボランティア



小 金 井 市

市長：稲葉 孝彦

【学童収穫体験を開催】

市内農家の方の協力を得て、公立小学校の生徒を対象に農作物の収穫体験を開催しています。

学校の授業だけでは学ぶことのできない、農作物収穫の喜びや育ち方を知る貴重な体験となっています。





国分寺市

市長：井澤 邦夫

【国分寺いきいき農園】

市民が農業体験を通じて農業への理解と交流を深めるとともに、農業に関する情報発信及び人材育成の場とすることを目的に平成23年5月に開設。障害者団体，市民団体の利用以外に国分寺市市民農業大学修了生である事業協力員の指導で親子農業体験教室を実施しています。





小平市

市長：小林 正則

【小平産野菜を使用した夏野菜カレーの日】



小学校給食の地場産野菜導入促進のため、昨年7月、市内全19校で、夏野菜を使ったカレーに献立を統一する取り組みを行いました。

平成26年度の小学校給食における利用率は22.14%に達しました。





狛 江 市

市長：高橋 都彦

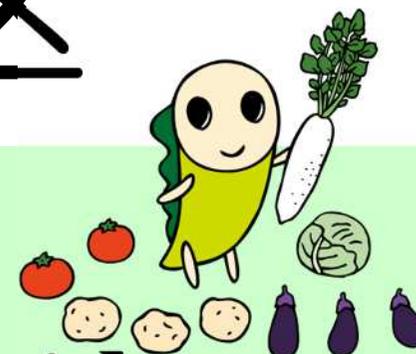
【GAPの取組でブランド野菜を生産】

有志農家がGAPの取組により食の安全をチェックシートで「見える化」することで、消費者の安心の根拠にしようと、「狛江GAP研究会」を組織し、都内で初めてのGAPの取組を開始しました。GAP手法に取り組むことで、新たな付加価値を加えた農産物を『狛江ブランド野菜』として確立させていく支援をします。





杉 並 区



区長：田中 良

【貴重な財産である都市農地を守ろう！】

27年度重点事業

- ・地産地消推進連絡会の運営
- ・営農活動支援費の助成
- ・農業体験農園(小規模)の開園・運営に関する助成
- ・防災兼用農業用井戸の整備
- ・JA東京中央・世田谷区との協働事業(アグリフェスタ)の開催





世田谷区

区長：保坂 展人

【農業・農地を活かしたまちづくり事業】

東京都の「農の風景育成地区」に指定された喜多見四・五丁目地区では、平成25年度から農業・農地を活かしたまちづくり事業支援委員会(産業労働局)の協力を得て、農地保全重点地区のひとつとして、地域内の農家・住民を中心にまちづくり検討会を設置して、地域全体で「農」を支援する機運を高める場として、農業公園(仮称)の整備やそのあり方の検討など、まちづくりを進めています。



立川市

市長：清水 庄平

【みの～れ^{カフェ}Cafe】

ファーマーズセンターみのーれ立川にカフェができました。オススメは立川産豚肉を使用した特製肉うどんとスムージーです。自慢の逸品を是非味わってみてください。





多摩市

市長：阿部 裕行

【ふれあい農業推進事業 体験農業】

農作物の栽培過程の一部を体験することにより、子どもたちに食や農業への関心を深めてもらうことを目的として、農業委員会と市内児童館が共催で平成5年から実施しています。





調 布 市

市長：長友 貴樹

【ふれあい体験農園】

多様な農業体験の場としてふれあい体験農園を開設し、
農業者と市民との交流を図り、農地や作物に触れる場の
提供に努めています。





中野区

区長：田中 大輔

【中野区親子農園事業】

18歳未満の子どもと同居する世帯を対象に、昭和44年から開始。貸出区画151区画（1区画9.9㎡）。親子が自然に親しみ、青少年の健全育成を目指しています。





西 東 京 市

市長：丸山 浩一

【都市と農業が共生するまちづくり事業を展開中！】

市内の飲食店等が、市内産農産物を使ったメニューを提供する「めぐみちゃんメニュー事業」では、地産地消や、農商工連携の取組を進めています。





練馬区

区長：前川 燿男

【農家の支え手となる人材の育成】

平成27年3月に「練馬区農の学校」を開校！
農の学校では、区内農業者が講師となり
農家を支える人材を育成し、支え手を必要
とする農家とのマッチングを行います。

所定のコースを修了した受講生は、「ねり
ま農サポーター」として認定され、農家の
支え手として活動するとともに、区内農業
イベントの手伝いをしていきます。





八王子市

市長：石森 孝志

【農地バンク制度】

市街化調整区域内の遊休農地の解消と発生防止を目的に平成26年4月より開始。貸付けを希望する農地の情報を集約し、経営規模を拡大したい農家、新規就農希望者及び法人などに農地の情報を提供し、利用権設定による貸借につなげていきます。



羽 村 市

市長：並木 心

【農業の輪（テレビはむら）】

テレビはむら「シリーズ農業の輪」では、熱意やこだわりを持って、新鮮で安全な農産物を生産している農家に出演をいただき、身近な羽村の農業を紹介しています。

今まで38の農家が出演





東久留米市

市長：並木 克巳

【地場農産物活用事業】

東久留米産のサツマ芋を鹿児島島の焼酎メーカーにて仕込み、数カ月間、甕で寝かせ熟成させ、非常に深みのあるまろやかな風味に仕上げました。

「黒目川」というネーミングは、市内に源流を持つ黒目川にあやかりました。





東 村 山 市

市長：渡部 尚

【地産地消】

久米川駅北口イベント広場にて、市内産農産物をはじめ、農産物を原料とした加工品を販売する朝市「マルシェ久米川」。今年で4年目を迎え、市民の方々にも浸透し、毎月好評いただいています。





東大和市

市長：尾崎 保夫

【第4回グルメコンテスト「うまかんべえ～祭」】

市内産の「小松菜」と、狭山茶を練り込んだ「ひがしやまと茶うどん」を課題食材としたグルメコンテストを開催。会場では生産者による農産物の直売も行われ、市内農業のPR・地産地消の推進に取り組みました。





日 野 市



多摩地域最古のビール復刻



130年の刻を超えて…

7月26日発売



市長：大坪 冬彦

【TOYODA BEER 復刻】

日野市豊田にはかつて多摩地域最古のビール工場がありました。この度行われた発掘調査で、当時のラベルなどが発見された事をきっかけにTOYODA BEERプロジェクトが立ち上がりました。今年7月には復刻版を発売します。また現在、日野産大麦を使用した完全復刻版の発売を目指し、試験栽培も始まっています。



日の出町

町長：橋本 聖二

【地産地消型農業の推進】

作り手の顔が見える新鮮で安全な地元農産物の販売や地元加工品の販売を促進し、農業者の生産意欲の向上「地産地消」を根幹とした農業の維持、振興を図っていきます。





府 中 市

市長：高野 律雄

【都市農業のPR】

市民に広く都市における農地や農業の役割について感じてもらえるよう、野菜・水稲・花の栽培まで、幅広い農業体験事業を展開しています。また、農業まつり等を通じ、市民と農業者のふれあいの場を提供しています。





福 生 市

市長：加藤 育男

【楽しく！美味しく！落花生ウォーク！】



たっけー☆

食欲とスポーツの秋を、農業を通して楽しむ「落花生ウォーク」。市内の農業事情を学ぶだけでなく、**福生の落花生「はっ！ぴー ナッツ」**の収穫や料理教室も開催することで、“福生の農業”を体感してもらいました。





町 田 市

市長：石阪 丈一

【田んぼのある里推進事業】

貴重な谷戸風景を保全するため、水稲を作付けしている水田を対象に10aあたり15,000円の水田保全奨励金を交付します。この他、レンゲ草の種の配布等も行っています。





瑞穂町

町長：石塚 幸右衛門
【農業委員会活動】



自然薯植え付け作業



芽がでてきました。

平成27年度に新たな試みを開始しました。

高根地区の不耕作地においてジョイフル本田瑞穂店ガーデンセンターと共に自然薯の植え付けを行いました。11月頃に瑞穂産の自然薯が収穫予定です。



三鷹市

市長：清原 慶子

【「TAKA-1」みたかのおみやげ部門】

三鷹の魅力的な商品を「みたかのおみやげ」として認定し広くPRすることで、地域ブランドの構築と6次産業化を推進しています。

三鷹産農産物も数多く使用されています。



ま果ろん
三鷹産キウイ・
ブドウ・イチジク・
鶏卵が原料
の第3回新規
認定商品

ルーロ
・フォレ
三鷹の森をイ
メージし、切り
株に見たてた
ロールケーキ。
第3回
新規認定商品



三鷹キウイワイン



武 蔵 野 市

市長：邑上 守正

【生産緑地の追加指定】

緑豊かな景観を守るため、
生産緑地の指定基準の見直し
を行いました。

平成26年度には3件、約
1,140m²の追加指定を行いま
した。



生産緑地の現地調査



武蔵村山市

市長：藤野 勝

【特産のみかんや小松菜のPR】

市の特産品であるみかんや小松菜をPR

するため、市内大型商業施設内で生産者と試食販売のイベントを実施するなど、市民に限らず多くの方へ当市の農業について理解していただけるよう活動しています。





目黒区

区長：青木 英二

【きゃべつの収穫体験】

区内農家の圃場でじゃがいも掘りやぶどう狩りの収穫体験を行っています。今年度からきゃべつの収穫体験も始めました。新鮮なきゃべつの収穫とあおむしや蝶などを見つけて、みなさんの笑顔でいっぱいでした。

